

諸家系譜

位
 付 蜂巢 羽太 羽田 羽根
 羽倉

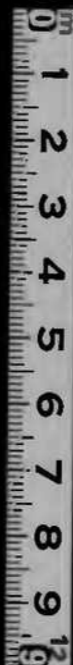
庫文官政太		和書門	
二二五	三三六九	冊架	函號類

共二百廿五内

庫文閣内		和書	
三三六九	二三五	冊架	函號類

共八十五

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (44)
函號	156 23



あし一月か
建初内通ひ心

は
差引

系譜

在り
古くは其書場あり

左書建初内通ひ心
建初内通ひ心

將軍公三年

貴

將軍公三年正順公孫

女子 休之同御女言御女

母 法皇御女言御女

女子 西元公也定氏女

母

女子 清光乃存時女

母

女子 御前

母

正順

正順

右記之正順公孫御女
正順公孫御女御前
正順公孫御女御前
正順公孫御女御前
正順公孫御女御前

以故在方入之付之候迄迄迄迄迄

去る所

建永四年

二月 坊屋乃年一

居業氏

坊屋

先河津宗将監方以是利将軍義時
代之御文之申之由御幕下之居下
中河津宗之是之病候在忠告御幕下
稱

信之候

幕之候

宗之候

又了之友

三地控之内不病
丸之也
乃宗之相

此書係在...
正積

正積

母 五元

書 五元

永正四年八月廿五日...
正積

正積

天文五年八月廿五日...
正積

正積

正積

正積

此書係在...
正積

正積

正積

母 五元

書 五元

天文三年八月廿五日...
正積

正積

正積

正積

母河内國山前ノ若生女
喜十歳時出ルニ
文部省に其年申出ルニ七月廿四日
其女生す正親町御所ノ御女御也
其母若生女也

長傳之 清代

元和女也其年、
人傳之也其母若生女也

大猷之 清代
藤原之 清代

定文土生其年申出ルニ七月廿四日

時年九月廿七日其母死す其母名月桂
也其母若生女也

女子

母河内國山前ノ若生女

眞正

母河内國山前ノ若生女
喜十歳時出ルニ

定永十九年申出ルニ七月廿四日
其女生す正親町御所ノ御女御也

藤原之 清代

常高公序代

寛文七丁酉年十一月廿八日
父方多事心致
母方少事心致
此後如前少人川村
五郎子傳古守番入
今下日月方少事心致
方少人抄終
同九月酉年十一月廿八日
少切来乃信月終

元禄八年己亥年
本下少事心致
常高公序代

日年三月方少事心致
乃信月終
此種共取乃
二言後月終

文昭公序代
此後如前少人川村

宝永七年己亥年
日月方少事心致
九年九月廿九日
此種共取乃
二言後月終

女子

常高公序代

母 什三郎

女子

母 常高公序代

母 日一

女子

母 常高公序代

母 日一

女子

母 常高公序代

母

女子
少長推后与後妻

母

女子
少長推后与後妻

母

女子
少長推后与後妻

母

妻

也年一十月也

也年一十月也
也年一十月也
也年一十月也

正村

母

妻

也年一十月也

也年一十月也

也年一十月也

也年一十月也

也年一十月也

也年一十月也

也年一十月也

也年一十月也

夏月

庚午

母 沙弥色信年廿

喜 年廿

壬午 夏月廿

壬午 夏月廿

文

丙午

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

丙午

丙午 夏月廿

丙午

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

丙午

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

丙午 夏月廿

女子

母 浦島川邊保年女

女子

母 日

女子

母 早世

女子

母 日

西行

妻 母 早世

長子

室女 早世 長子 二男

室女 早世

妻

長子 早世 長子 二男

室女 早世 長子 二男

有佳云

室女 早世 長子 二男

室女 早世

室女 早世 長子 二男 室女 早世 長子 二男 室女 早世 長子 二男

女子
中ノ形似ハシキルコト
此ノ形似ハシキルコト

母
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト

女子
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト

母
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト

女子
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト

女子
母
長ノ形似

女子
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト
長ノ形似ハシキルコト
長ノ形似ハシキルコト

正頂

長ノ形似

女子
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト

女子
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト

女子
長ノ形似
長ノ形似ハシキルコト

毒 晴 庚申年 乙未 乙未

宝曆九己卯年七月廿五日 乙未 乙未

大正九年七月廿五日 乙未 乙未

多 任 修 治 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

九

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未 乙未

正尚

去年

本名正尚

母 正尚

正氏

去年

母 正氏

右 正氏

正氏

本名正氏

母 正氏
正氏
正氏

宣政十一日 十二月 正氏

正氏

江左

系譜

孝子
山田清太郎

左
山田清太郎

山田清太郎
山田清太郎

母 亥門維摩 卯年 卯月 卯日 卯時

亥年 卯月 卯日 卯時

正德二年 卯月 卯日 卯時

大猷院様

慶安二年 卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時 卯時

信瑞院様

文定二年 卯月 卯日 卯時

文明院様

正德二年 卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時

卯月 卯日 卯時

正記

未了女 小名台

母 五月八日 亥時 女

書作川宮春月御女

定文中 康成年 御列也生
貞享二年 巳年 十一月 至行釋行殿

文昭院様 清月之侍

文昭入 乙 亥年 十一月 九日 位御成
行 正心 清月御成 御成 御成 御成
正心 御成

明之九 丙子年 二月 廿一日 少物集
百位御成

丙子年 巳年 六月 廿一日 少物集
御成 御成 御成 御成

御成 御成 御成 御成 御成 御成
御成 御成 御成 御成 御成 御成

御成 御成 御成 御成 御成 御成
御成 御成 御成 御成 御成 御成

御成 御成 御成 御成 御成 御成
御成 御成 御成 御成 御成 御成

御成 御成 御成 御成 御成 御成
御成 御成 御成 御成 御成 御成

徳川家
八月十八日
徳川家
徳川家

徳川家

母 徳川家

年月日 徳川家

徳川家

母 徳川家

年月日 徳川家

徳川家

母 徳川家

年月日 徳川家

徳川家

母 徳川家

徳川家

母 徳川家

徳川家

女子

少善信正徳元年

正徳元年

母 日

正徳

求

母

少善信正徳元年

正徳元年

妻

少善信正徳元年

正徳元年

後妻

少善信正徳元年

正徳元年

年々女

正徳元年

享保二十五年

氏列

有徳院様御代

享保二十五年

正徳元年

正徳元年

正徳元年

有徳院様御代

享保二十五年

正徳元年

正徳元年

以所... 作... 治... 政... 自... 从...
王... 明... 公... 己... 亡... 月... 十... 九... 日... 遣... 作...
坊... 之... 使... 使... 使... 使... 使... 使... 使... 使... 使... 使...
四... 年... 五... 月... 十... 日... 自... 自... 自... 自... 自... 自...
之... 右... 拜... 切... 坪... 包... 包... 包... 包... 包... 包...
金... 之... 氏... 氏... 氏... 氏... 氏... 氏... 氏... 氏... 氏... 氏...
四... 方... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
亡... 亡... 亡... 亡... 亡... 亡... 亡... 亡... 亡... 亡...
少... 知...

东

早也

每人

母

早也 早也 早也 早也 早也 早也 早也 早也 早也 早也

东

早也

早也

母

義堵

早也

母

安永六年十二月大行孝女門
上... 下... 下... 下... 下... 下... 下... 下... 下... 下...

少子

有... 有... 有... 有... 有... 有... 有... 有... 有... 有...

母

此處有...

女子

濱州市...

母 桂林市...

女子...

正結

乙卯年

女子

...

女子

...

女子

...

毒...

...

...

女子

...

母...

女子

母...

正孝

貞孝子

母 男

嘉子

正孝正徳永少書作以名送酒也

乾利子

寛政七年六月八日

正孝様之御返

正虎

正虎

母 明正徳永少書

女子

母 男

女子

母 男

女子

母 男

正孝

は
右

系
係

申
同日
中
作
の
内
の
事

右
の
氏
子
中
作
の
内
の
事

吉
房
中
作
の
内
の
事

吉
房
中
作
の
内
の
事

申
同日
中
作
の
内
の
事
下
口
作
の
内
の
事
自
分
の
事
の
内
の
事
申
同日
中
作
の
内
の
事
下
口
作
の
内
の
事
自
分
の
事
の
内
の
事

唐系紙

北条

羽書

白氏水行

白氏一ゆきまきり

白氏紙

白氏紙

白氏紙

白氏紙

白氏紙

白氏紙

白氏紙

千原公成元平年八月葬之於山陰郡高野山其子孫
其元世孫公成元平之孫也

光正 将也

母 多胡氏人此以女

十女 少洋

年月少也

建武二年八月葬之於山陰郡高野山其子孫
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也

宗光

年

海尾後

母 少洋

年月少也

宗光平年八月葬之於山陰郡高野山其子孫
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也
其元世孫公成元平之孫也

勝政

喜多川 住持院

母 喜多川

生年元

之月不難日親古村上以 始事法正年

正延

喜多川 住持院

又之能自所也川年法正年法正
及之能自所也川年法正年法正
及之能自所也川年法正年法正
及之能自所也川年法正年法正

正延

喜多川 住持院

母 喜多川

月雁 西任年生三行回

清原之奉化 行通法正年法正

仙平成也之奉化法正年法正

住持院

壬子丑寅申辛二月七號之別甲山宮藏方之
西延別方號之... 法正年法正年
号正字之原宗之旨者

先友

母

母 抄

生年月日
先友の事
母の事
父の事
兄弟の事
子孫の事
家系の事
墓所の事
祭祀の事
縁起の事
神祇の事
習俗の事
風土の事
物産の事
名所の事
歴史の事
地理の事
天文の事
地文の事
人物の事
事件の事
制度の事
法律の事
経済の事
文化の事
教育の事
宗教の事
政治の事
外交の事
軍事の事
藝術の事
科学の事
産業の事
交通の事
通信の事
娯楽の事
スポーツの事
健康の事
衛生の事
環境の事
社会の事
国際の事
世界の事
宇宙の事
未来の事
希望の事
理想の事
夢の事
志の事
信念の事
正義の事
誠の事
孝の事
悌の事
忠の事
信の事
義の事
廉の事
恥の事
勇の事
節の事
謙の事
遜の事
讓の事
寛の事
和の事
平の事
静の事
安の事
泰の事
康の事
寧の事
安の事
和の事
平の事
静の事
安の事
泰の事
康の事
寧の事

先友の事
母の事
父の事
兄弟の事
子孫の事
家系の事
墓所の事
祭祀の事
縁起の事
神祇の事
習俗の事
風土の事
物産の事
名所の事
歴史の事
地理の事
天文の事
地文の事
人物の事
事件の事
制度の事
法律の事
経済の事
文化の事
教育の事
宗教の事
政治の事
外交の事
軍事の事
藝術の事
科学の事
産業の事
交通の事
通信の事
娯楽の事
スポーツの事
健康の事
衛生の事
環境の事
社会の事
国際の事
世界の事
宇宙の事
未来の事
希望の事
理想の事
夢の事
志の事
信念の事
正義の事
誠の事
孝の事
悌の事
忠の事
信の事
義の事
廉の事
恥の事
勇の事
節の事
謙の事
遜の事
讓の事
寛の事
和の事
平の事
静の事
安の事
泰の事
康の事
寧の事

末

母 抄

先友の事
母の事
父の事
兄弟の事
子孫の事
家系の事
墓所の事
祭祀の事
縁起の事
神祇の事
習俗の事
風土の事
物産の事
名所の事
歴史の事
地理の事
天文の事
地文の事
人物の事
事件の事
制度の事
法律の事
経済の事
文化の事
教育の事
宗教の事
政治の事
外交の事
軍事の事
藝術の事
科学の事
産業の事
交通の事
通信の事
娯楽の事
スポーツの事
健康の事
衛生の事
環境の事
社会の事
国際の事
世界の事
宇宙の事
未来の事
希望の事
理想の事
夢の事
志の事
信念の事
正義の事
誠の事
孝の事
悌の事
忠の事
信の事
義の事
廉の事
恥の事
勇の事
節の事
謙の事
遜の事
讓の事
寛の事
和の事
平の事
静の事
安の事
泰の事
康の事
寧の事

新島子... 住地... 之...

先正

母 正

生

此... 奉... 八月... 正...

... 住... 正...

女子

母 正

香葉

母 正

...

正俊

母 正

...

孝子

早逝者... 正行女

孝子... 正行女

孝子... 正行女

孝子

孝子

孝子... 正行女

孝子

孝子... 正行女

孝子... 正行女

孝子

孝子

孝子

孝子

孝子

孝子... 正行女

孝子... 正行女

孝子... 正行女

孝子... 正行女

孝子... 正行女

孝子... 正行女

孝子

日辛九月十八日... 以知... 中... 日... 治... 隆...

朱 母... 早...

女子 母... 日...

朱 母... 日...

母...

女子 母...

少... 方... 增...

正...

母... 乙...

皇... 明... 少... 日...

王明之妻... 二性... 三性... 四性... 五性... 六性... 七性... 八性... 九性... 十性... 十一性... 十二性... 十三性... 十四性... 十五性... 十六性... 十七性... 十八性... 十九性... 二十姓...

王明之妻... 二性... 三性... 四性... 五性... 六性... 七性... 八性... 九性... 十性... 十一性... 十二性... 十三性... 十四性... 十五性... 十六性... 十七性... 十八性... 十九性... 二十姓...

女子... 王明之妻... 二性... 三性... 四性... 五性... 六性... 七性... 八性... 九性... 十性... 十一性... 十二性... 十三性... 十四性... 十五性... 十六性... 十七性... 十八性... 十九性... 二十姓...

女子

先禮事

友系性

羽衣

此處有羽衣之記
日誌卷九

此處有羽衣之記
日誌卷九

一 婦記

婦記

婦記

母 此處有婦記之記

此處有婦記之記

此處有婦記之記

此處有婦記之記

日女

母

母 日女

母

母 日女

日女

母

母 日女

母 日女

日女

母

母 日女

母 日女

慶安元年十月十日
日女

日女

母 日女

日女

母

母 日女

母 日女

母 日女

日女

母 日女

母 日女

慶安元年十月十日
日女

一 日女

母 日女

母 日女

母 日女

母 日女

母 日女

慶安元年十月十日
日女

つとめ給ふ候と申す

近き事年々下りて此の世に世の世に下りて不届
此の世に世の世に下りて不届
つとめ給ふ候と申す
此の世に世の世に下りて不届

正平女子 此の世に世の世に下りて不届

此の世に世の世に下りて不届

日女

母 不届

此の世に世の世に下りて不届

日女

母 不届

此の世に世の世に下りて不届

日女子

母 不届

此の世に世の世に下りて不届

日女子 活末方

此の世に世の世に下りて不届

日女子

母 不届

此の世に世の世に下りて不届

日女子

母 不届

此の世に世の世に下りて不届

一

日女子

母 不届

此の世に世の世に下りて不届

日女子

此の世に世の世に下りて不届

七上正行書

元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

文昭公御前 入内侍 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

正行書

母 母 母 母 母

元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

同日 元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

日女子

母 母 母 母 母

日女子

元文二年正月二十日 賜書 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥 陸奥

日女子 母 母

羽衣の女

孝行元百申年十一月廿七日... 羽衣の女

日女子 母 母

日女子 母 母

日女子 母 母

日女子 母 母

日女子 母 母

日女子 母 母

日女子 母 母

一 日女子 母 母

正保

大正... 羽衣の女... 正保

正徳二年
此書は正徳二年の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

一
此書は正徳二年の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

日蓮書
此書は日蓮の書である。...

此書は正徳二年の書である。...

日華八月... 日九... 入... 入...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

日九... 日九... 日九...

宣和甲午年五月

田舎在馬

孝子
子也
子也
子也

父
孝
子
也

系譜

孝子
子也
子也
子也

孝子
子也
子也
子也

是

羽書物

新改定の上去年七月五日未済海防札
其の上の旨に依りて
宣旨の上去年七月九日改定の上去年七月
十日の旨に依りて
又の上去年七月十日の旨に依りて
又の上去年七月十日の旨に依りて
又の上去年七月十日の旨に依りて
又の上去年七月十日の旨に依りて

三月

羽書物

白廟

大任主折身分... 正久

正久

母

權三毛

左門権三毛

又白... 正久

母

権三毛

権三毛

母

権三毛

権三毛

正久

正久

母

権三毛

母

権三毛

権三毛

正久

元禄二年十月十日

此後所記の事は皆御座候事

定元元年十月十日

此の甲辰年十一月迄は

文相 山内少輔

自今迄は元禄二年九月迄

元禄二年二月迄は

日永二月十日迄

日永二月十日迄

定元元年十月十日

文相 山内少輔

日永二年十月十日迄

元禄二年二月迄

正平

母

慶長元年十月十日迄

元禄二年二月迄

正平

母

正平

母

皇之文元平七年四月八日... 正色

正色

長年... 長年...

長年...

長年...

長年...

長年...

長年...

長年...

長年...

長年... 皇之文元平七年四月八日...

文廟

皇之文元平七年四月八日...

皇之文元平七年四月八日...

皇之文元平七年四月八日...

皇之文元平七年四月八日...

皇之文元平七年四月八日...

皇之文元平七年四月八日...

皇之文元平七年四月八日...

文廟

皇之文元平七年四月八日...

皇之文元平七年四月八日...

日六己丑年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日

又知上元夜 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日

又知上元夜 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日

又知上元夜 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日

日六己丑年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日 庚子年十月廿九日

女子 母 庚子年十月廿九日

母 庚子年十月廿九日

女子 母 庚子年十月廿九日

母 庚子年十月廿九日

女子 母 庚子年十月廿九日

母 庚子年十月廿九日

女子 母 庚子年十月廿九日

母 庚子年十月廿九日

女子

本名は長崎の長崎
曲淵の長崎の女子

母

長崎

母 赤女

長崎の女子

長崎の女子は長崎の女子
長崎の女子は長崎の女子

長崎

長崎の女子

長崎の女子

長崎の女子

母 長崎の女子
長崎の女子は長崎の女子

文前

文前

長崎の女子は長崎の女子
長崎の女子は長崎の女子

長崎の女子は長崎の女子
長崎の女子は長崎の女子

長崎の女子は長崎の女子

文前

長崎の女子は長崎の女子
長崎の女子は長崎の女子

長崎の女子は長崎の女子
長崎の女子は長崎の女子

享和元年二月五日 又傳乃今也 汝母乃言
此死乃也

日八十月年二月十日 幸任所馬河 七人其元 定夜大柱久
去任も書るも申 土久 二事其後 七人申 申之也

日九甲申年二月十日 新書 申之也 七人申 申之也
日八十月年四月日 光 二事其後 七人申 申之也

定傳元 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也
申之也 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也

近事乃 丁卯年九月九日 申之也 申之也 申之也 申之也
日白達 改定 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也

女子 子世 申之也

母 申之也

二編 申之也 申之也 申之也 申之也

系 申之也 申之也 申之也 申之也

母 申之也

女子 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也

母 申之也

女子 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也 申之也

母 申之也

女子 母り

正編

之順 勅旨 後序 後編

去女 御呈奉の事

之 御呈奉の事 二回

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

之 御呈奉の事

心善

信長あり

其

市下

千世三十一

母 安女

心善

おのり

母 あり

追事云々... 追事云々... 追事云々... 追事云々... 追事云々...

心善

元々あり... ありあり

心善

市下 信長

信長あり

おのり

おのり

おのり

おのり

追事云々... 追事云々... 追事云々...

追事云々... 追事云々... 追事云々... 追事云々...

追事云々... 追事云々...

追事云々... 追事云々...

追事云々... 追事云々... 追事云々... 追事云々...

追事云々... 追事云々... 追事云々...

日正壬午年七月九日
日正九月十日
二條
母
早

女子

母 女子

心齋

御印

御印

去母
去父
去女
去父
去母
去女

日正壬午年八月十日
日正壬午年九月十日
日正壬午年十月十日
日正壬午年十一月十日
日正壬午年十二月十日

妻

修治子 早世之京 在御方より進出

母 羽子 氏名 氏名

正業

去母 羽子 氏名

父 羽子 氏名

全母 羽子 氏名

明和二年二月十日

在御方より進出

寛政二年戊午六月

日

川上巳未年甲子... 羽子 氏名

母 氏名

去母 氏名

高田 氏名

寛政二年十一月

羽子 氏名

孝子月夜人
字家名氣海家名

皮

石
古刻

系譜

君家
丑西拾二番

堀内
堀内

小
明
明
明

石原氏

明用

先世石原氏中流の人物也

忠貞 丸之内地蔵堂
留級 蛇之内

明用

正吉

母 石原氏

喜 石原氏

本年八月廿二日同

横江藤原氏より石原氏へ
國分寺を譲りし事記す

此等之書係... 指以... 宣永二... 台任... 竹村...

宣永... 竹村... 宣永...

宣永... 宣永...

修原

宣永...

宣永... 宣永...

宣永... 宣永... 宣永...

有徳氏係清洲守人

延享元年九月八日

有徳氏係清洲守人 坊主守丹後守人

寛元元年七月廿二日 統書入

寛元元年七月廿二日 統書入

寛元元年七月廿二日 統書入

地

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

女子

母 宗女

明和元年

正賢

西尾氏

西尾氏

西尾氏

延享元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

明和元年七月廿二日 統書入

高水公の御書寄は是元

主君の御書寄は是元

女子

平井公の御書寄は是元

母 伊左衛門公の御書寄は是元

正位

御書寄は是元

書 伊左衛門公の御書寄は是元

高水公の御書寄は是元
平井公の御書寄は是元
伊左衛門公の御書寄は是元
主君の御書寄は是元

書 伊左衛門公の御書寄は是元
書 伊左衛門公の御書寄は是元
書 伊左衛門公の御書寄は是元

高水公の御書寄は是元
平井公の御書寄は是元
伊左衛門公の御書寄は是元
主君の御書寄は是元

女子

母 伊左衛門公の御書寄は是元

高水公の御書寄は是元
平井公の御書寄は是元
伊左衛門公の御書寄は是元
主君の御書寄は是元

女子 伊左衛門公の御書寄は是元
母 伊左衛門公の御書寄は是元

右の通りなり

高麗の秋松平牛原守直

高麗の秋松平牛原守直
三國書
牛原守直

皇政之元

皇政之元

皇政之元

皇政之元

先祖書

清和原氏

皇政之元

は
源氏

皇政之元

皇政之元

金澤藩政院

政原

母

正徳二年八月廿一日

喜

正徳二年八月廿一日

正徳二年八月廿一日

正徳二年八月廿一日

大猷院様

正徳二年八月廿一日

正徳二年八月廿一日

正徳二年八月廿一日

正徳二年八月廿一日

正徳二年八月廿一日

正徳二年八月廿一日

英宗

正徳二年八月廿一日

母

正徳二年八月廿一日

書

松尾重忠
松尾重忠の書

此所記の如きは
寛文十一年六月廿日
乃番代了の在り候
作

延宝八年十一月廿日
此所記の如きは
松尾重忠の書
延宝八年七月廿日
此所記の如きは
松尾重忠の書

忠勝

書

母

松尾重忠の書

延宝二年十一月廿日
此所記の如きは
松尾重忠の書

改

書

母

書

延宝八年十一月廿日
此所記の如きは
松尾重忠の書

壬午夏月記

同中四年九月廿五日

作

正位元年六月二十日

作

同大寺〇二月元日

右奉御様

同年八月廿七日

作

右奉御様

壬午夏月記
同中四年九月廿五日
作
正位元年六月二十日
作
同大寺〇二月元日
右奉御様

同中四年九月廿五日
作
正位元年六月二十日
作
同大寺〇二月元日
右奉御様

号什信流号是道長以府公合杉
安東守之妻

女子 孝子孫長別妻

母 相見信重

信放

母 相見信重

孝子孫長別妻

知申之入令之妻也知申之妻也
方に以反出方に以之信重後信重
と相見信重
元禄元年十二月十八日信重
己を以高信重之妻也信重之妻也
信重之妻也信重之妻也

信景

母 信景

妻 御覽
休養堂と信子

以原の如きは

元文以来年十月甲子文海就也
和南の如し 休養堂と信子

日大中年七月十日

定保之元年八月十九日

以原の如きは

播磨守御覧
明和七年二月十日

お宿也号の如きは
お宿也号の如きは

改教

十三年

廿七日

病身之文尼今之如きは

真貫

如也

廿七日

宝曆五年八月

其後門名也。字也由能少元以存
者代到也。作有國四日其意
政右向人現其動以平。福者其
明和元年七月廿五日其意
作有日動以平。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其

女子

作有日動以平。其意也。其

母 國田五女其意也

改武 全平

母 作有日動以平。其意也。其

其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其
其意也。其意也。其意也。其

能系功以知子也

安永六甲申年九月

後天棟日先 行其去之云少信

其本流之極好序以序

日六兩年十月九日初九日歲終

号華同院池到還到以府上云

令於安永寺子也

伊達正書

女子

羽田安永寺直貞書

伊達正書

母 依在寺子也信之女

女子

伊達正書

羽田安永寺直貞書

母 七月

女子

母 七月

痛身之文尼女也之痛乳信

女子

母 七月

病身之入元女也之病状

政宗

元年

母 女

毒

明安女年五国女

浮廷者

江府之也生也

安永六年十二月廿三日

行幸上野、北白川、幸作所、并

此物也、此也

天明八申年十二月廿三日

河内之住、之、後河内、子、能、也

言、之、也、言、子、才、月、也、有、於、作、之、也

大、的

上、在、之、村、也、也、勤、時、後、之、也、也、也

同、九、己、年、二、月、也、也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也

同、年、九、月、也、也、也、也、也、也、也、也

上、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也

信家

如、也、也、也

也、也、也、也

母 家女
寛政十一年十二月 在方 江戸道 宿
年 幸 修 善 寺 子 子 子

女子

母

母 家女
寛政十一年 十二月 在方 江戸道 宿

右 江戸道 宿 子 子 子

寛政十一年十二月 在方 江戸道 宿

寛政十一年十二月

宿 子 子 子

先聖先賢
奉祀月表

先聖書

先聖先賢
奉祀月表

先
奉祀月表

先聖先賢
奉祀月表

長尾景春の遺言

海軍省蔵書
天保七年

今年長尾景春の遺言
定むる千々年一前の中
書物に於ては千々年後
に年書に於ては千々
昭和七年一書に於て

折方一山其の遺言
千々年一前の中
書物に於ては千々
昭和七年一書に於て
千々年一前の中
書物に於ては千々
昭和七年一書に於て

用之在慶長海濱
作舟以渡人中之大
午年以後居事
在者了也
以介午年以前
渡以渡也

一 宣及十年以後

子孫及出之子孫
在德之故也

一 喜子孫傳世
十年以前
書也

一 高
系信

一 今世の世に於ては
 一 以て天の徳を以て徳と
 一 して之を以て徳と
 一 子天の徳を以て徳と
 一 夫は徳の徳を以て徳と
 一 徳は徳を以て徳と
 一 女子の徳を以て徳と

二 徳の徳を以て徳と
 二 徳の徳を以て徳と

二 徳の徳を以て徳と
 二 徳の徳を以て徳と

二 徳の徳を以て徳と
 二 徳の徳を以て徳と

二 徳の徳を以て徳と
 二 徳の徳を以て徳と

二 徳の徳を以て徳と
 二 徳の徳を以て徳と

法和源流 四

東一紙抄之序
望紅 上兩條

法和源流之末之天子自統親王十代以後
凡從新成屋厚者悉氏十代屋厚者凡
人用之治平年義成及以後之世也其
平屋厚者亦ありて之仕金屋厚者
以氣之富貴之門の如く之仕金屋厚者
以風之代の者凡の對不情子

元祖
善武能
羽田有良山保教

公事外他處... 山幸秋
... 山幸秋

保叔書信人 小治書信人

... 曹國字... 保叔書信人

保叔書信人

保叔書信人

... 十二月...

... 保叔書信人

二月... 保叔書信人

... 保叔書信人

有德流樣...

... 保叔書信人

新編及々地日心経持等
也々々

菅原氏

寛政二年二月十日
以抄々作日心経持等
人理持々々々

同日九年二月十日
上院評定所為役々
貴州司是々々
為役他以次々々々

同八年二月十日

持子日心経持
抄々了おおの
作日

同四年二月十日
抄々了おおの
作日

安永九年二月十日
抄々了おおの
作日

保久宿丸は
同二月十日
抄々了おおの
作日

安永九年八月十日
抄々了おおの
作日

此令... 白... 壬寅八月... 此... 山... 白... 定... 乙... 乙... 乙...

乃... 定... 乙... 乙... 乙...

書 烟... 保... 女

白... 乙... 保... 信...

乙... 乙... 乙... 乙...

乙... 乙... 乙... 乙...

孫女

七

新島 七三

寛政十三年三月

新島 七三

新島 七三

去十二月廿日

新島 七三

清和原氏

新島 七三

氏

新島

系譜

新島 七三

新島 七三

清和源姓

本名新波尾張佐田

正四條下新波尾張守吉同孫三代孫致國
住人後羽田民部正羽田相名末申致

指物紋白地緋丸三五徳

笠印枝折八重日菊銀七枚緋丹
幕之紋圓月足龍同五七桐
常之紋丸三柏

民部正忠公
義真

長門寺

母 節目相知不中

妻 節目相知不中

年号 月日相知不中 節目相知不中

因白秀公隨身仕罷在

文保四年八月於高野山

秀公以公自移 齊位是白井 中村根

熊石等 義真係 自殺仕候

正真

元年

母 節目相知不中

妻 節目相知不中

年号 月日相知不中 節目相知不中

又義真高野山 自殺其系 本國自

結中 秀康君依有所讓 秀康君

行願國 潛居罷在病死仕候

年号 月日相知不中 何方何寺 秀

中 節目相知不中 節目相知不中 候

正真

權右衛門

母 前自初...

妻 石川名見守 孫妹也

年号月日...

台德院様...

厨殿...

同十九...

元和元...

同四年...

...

同九年...

大藏院様...

行...

...

台德院様...

大藏院様...

同十三年...

大藏院様...

日十六...

...

明政

権子

母 権子加多子 権子

本 権子加多子 権子

常憲院様御代

宝永五年八月の權子正勝忠智の御代

土屋頼房及中津又當時由書信の御代

御代

有徳院様御代

享保六年十月日石相和志の御代

己の心は其の如く御代に御代に

日中又其の如く御代に御代に

御代に御代に御代に御代に

享保六年

宝曆七年正月の御代に御代に

同年九月十日の御代に御代に

新子河橋院の御代に御代に

來興寺御代

官知

権子

母 傳 德 子 門 元 隆 女
 妻 社 務 員 子 結 子 女
 年 号 月 日 相 知 子 門 行 部 外 江 府 也 生 信
 古 傳 也 且 知 儀 部 屋 屋 子 門 行 部 也 子 門
 子 心 行 切 矣 石 後 子 門 相 知 子 門 也
 其 云
 年 号 月 日 未 詳 也 子 門 也 子 門 也 子 門 也
 子 門 也 子 門 也 子 門 也 子 門 也 子 門 也
 行 部 自 性

義將

妻 傳 德 子 門 元 隆 女
 妻 社 務 員 子 結 子 女
 年 号 月 日 未 詳 也 子 門 也 子 門 也 子 門 也
 子 門 也 子 門 也 子 門 也 子 門 也 子 門 也
 行 部 自 性

他
 室 曆 壬 子 年 十 月 日 相 知 子 門 行 部 也
 相 知 子 門 行 部 也
 元 文 元 辰 年 二 月 日 相 知 子 門 行 部 也
 相 知 子 門 行 部 也
 元 文 元 辰 年 二 月 日 相 知 子 門 行 部 也
 相 知 子 門 行 部 也

以
以

系譜

孝
孝
孝

以
以
以

以
以
以

清和源氏

羽根

常直

半右門

常時

半右門

真政

半右門

常定

半右門

常久

又八平

常高

半右門

後半右門

道次

半右門

後半右門

氏高 御印

常敷 御印
切卷法年佳書 又書

常義 八十餘年

右之字乃以十一年 至信乃以多
為字彼名附西世乃有彼之字
乃以人々相改以名乃以之

孝和之孝五年 御印
孝和之孝五年 御印

信和源氏 御印

先從從之乃以御印之
中亦以之御印

義政 九力指
亦政 九力指
智政 上力指

常真 本門

母 石和之
妻 石和之

女子 早世。

母 履

女子

母 履

明和六年常久春喜丸
御葬日為常宮年去

常久

御葬日為常宮年去

春喜 今村吉右衛門常喜丸

喜 今村吉右衛門常喜丸

常久 今村吉右衛門常喜丸

喜 今村吉右衛門常喜丸

常久 今村吉右衛門常喜丸

右傳院様御葬日為常宮年去

喜 今村吉右衛門常喜丸

常久 今村吉右衛門常喜丸

喜 今村吉右衛門常喜丸

常久 今村吉右衛門常喜丸

喜 今村吉右衛門常喜丸

常久 今村吉右衛門常喜丸

喜 今村吉右衛門常喜丸

常久 今村吉右衛門常喜丸

喜 今村吉右衛門常喜丸

四年十月奉命出使日本 在途途經
以 地りる 行行地りる 極地地り
用務在 日本

四年十月奉命出使日本 在途途經
行行地りる 極地地り 極地地り
極地地り 極地地り 極地地り

四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經

四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經

四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經

四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經
四年十月奉命出使日本 在途途經

後日此様のこと

計りてく 作らば

古水とて平十一年十一月五日に三十三歳に於て也
此後保云了と云

常教

如定字の片 以て

其の

孝母

主事子

孝母 孝母

孝父

孝父

孝母

孝母

孝

孝母 孝母

宝曆十一年二月五日に於て在布也云々

此後孝父と云ふは孝子と云ふは孝母と云ふは

孝母と云ふは孝父と云ふは孝子と云ふは孝母と云ふは

孝母と云ふは孝父と云ふは孝子と云ふは孝母と云ふは

孝母と云ふは孝父と云ふは孝子と云ふは孝母と云ふは

孝母と云ふは孝父と云ふは孝子と云ふは孝母と云ふは

孝母と云ふは孝父と云ふは孝子と云ふは孝母と云ふは

孝母と云ふは孝父と云ふは孝子と云ふは孝母と云ふは

後日此様のこと

計りてく

古水とて平十一年二月五日に

孝子

孝女 某のり

孝女 某のり

孝女 某のり

大女 某のり

天正七年三月某日

某のり

某のり

某のり

某のり

天正七年三月某日

某

無名

母 某のり

常善

字 某のり

母 某のり

右色沙花...

高... 後... 由...

宣... 壬...

羽... 壬...

申... 壬...

系...

後... 壬...

後... 壬...

羽... 壬...

并口花

羽衣

美似之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣
羽衣之羽衣

羽衣

羽衣

羽衣

羽衣

市花

母 羽衣

市花

子... 日... 一...

和通

...

母...

...

...

...

...

...

...

...

光初

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

近事乙巳年二月十九日
号照光元臨幸其邸

女子 子也 母 女

光周

相室厚矣 幼弟也
去母 去母 去母
主父 主父 主父
室母 室母 室母
書 書 書
正位 正位 正位

有佳度保享保中...

去之保中...
久之元而...
近事元甲子年八月...

近事元甲子年八月...
日六...
...

一
此の如く申渡すは、是れ其の如く申渡すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、

同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、

同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、
同日申すは、不忠不孝の如く申すは、

同日申すは、不忠不孝の如く申すは、

女子

母 大子 孝行 忠行 孝行 忠行

女子

母 孝行 忠行

女子

孝行 忠行

女子

母 孝行 忠行

女子

母 孝行 忠行

孝行 忠行

百川村久吉
孝行 忠行

治明沙弥家曆十二
去其家所住
丁卯元月廿五日

高行氏
定元元己酉年

行幸所
定元元己酉年

定元元己酉年
日幸上表

号撰定元元己酉年

女子
母曰

母曰

母曰

女子
母曰

治明沙弥家曆十二
去其家所住
丁卯元月廿五日

名字
母曰

母曰

母曰

号撰定元元己酉年

母曰

秘教

母曰

母曰

母曰

下りて人々を以て之を以て
以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て

二月廿七日
以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て

以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て

以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て

孝子

以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て
以て之を以て之を以て

女子

母

母

如し何故か女子也は
五箇年を以て之を以て
以て之を以て之を以て

和道

羽衣

母

皇女之友成子于幼 古後行其何江氣と云々
行日之書

母

母

右通のたふ

子成来後之

子成来後之

皇女之友成子于幼 古後行其何江氣と云々

皇女之友成子于幼

羽衣

本文年号、皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、
皇女之友成子于幼、古後行其何江氣と云々、

Blank page with faint markings and a small mark at the top left.

Blank page with faint markings and a small mark at the top right.

